

特別企画コンファレンス

SDGs時代の 企業経営

—企業価値創造とビジネス機会—

FUJITSU

日時：2018年2月5日(月)
13:30 ~ 17:00 (受付開始 13:00)

会場：経団連会館 2階 国際会議場

shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

日本語・英語
(同時通訳付き)

参加費
無料

主催：株式会社 富士通総研
協賛：富士通株式会社

特別企画コンファレンス

「SDGs時代の企業経営 —企業価値創造とビジネス機会—」

開催のご案内

富士通総研 取締役執行役員常務 経済研究所長
小村 元

2016年1月に国連の持続可能な開発目標（SDGs）がスタートしてから2年が経過しました。国際社会が2030年までに達成すべき目標として17目標169ターゲットから構成されるSDGsは、対象範囲が極めて広範ですべての国・地域に適用されることから、社会課題解決の取り組みを考える際のグローバルな「共通言語」とみなされます。企業にとってSDGsは義務ではありませんが、その効果的な実施のために、人材・技術・資金を持つ企業の役割に対する国際社会の期待は大きくなっています。換言すればSDGsに示された社会課題の解決はビジネス機会につながるとも言え、2030年時点で世界全体で年間12兆ドル、アジア域内でも年間5兆ドルの市場規模が見込まれています。一方で、SDGs達成に悪影響を及ぼす企業活動はリスク要因となります。ESG投資への対応やサプライチェーン管理においても、SDGsへの影響把握と情報開示の重要性が増しています。

日本国内でもSDGs達成に向けた企業の役割に対する関心が高まっています。政府もSDGs実施指針において企業の貢献の重要性の認識を示し、支援策などが検討されています。2017年11月に改訂された日本経団連の企業行動憲章においても、SDGs達成への貢献が明示されました。大手企業を中心に国内企業も、SDGsの認識表明から方針・戦略策定や事業との関連付けなど、試行錯誤ながら具体化に向けた取り組みが始まっています。今後、一過性のブームに終わることなく、2030年までの長期にわたって、企業価値創造とビジネス機会の獲得につなげられる取り組みとしていけるかどうか問われています。

本コンファレンスでは、SDGsを巡る企業経営のあり方に関する国際的な潮流を把握するとともに、日本国内の取り組みの現況整理と課題抽出を行いながら、日本企業がSDGsの視点を活用して継続的に企業競争力を維持・強化するための具体的な企業経営のあり方や課題などについて議論を深める予定です。

プログラム

13:30~13:35	開会挨拶 富士通総研 代表取締役社長 本庄 滋明
13:35~14:05 基 調 講 演	The SDGs as a new corporate framework for strategic risks and growth opportunities 戦略的リスクと成長機会のための新たな企業フレームワークとしてのSDGs アース・セキュリティ・グループ チーフエグゼクティブ アレハンドロ・リトフスキ
14:05~14:35 基 調 講 演	SDGs経営とは何か —トランスフォーメーションの時代に求められるもの— 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 CSR室 シニアアドバイザー 明治大学経営学部 特任准教授 関 正雄
14:35~15:00 研 究 報 告	日本企業のSDGsの取り組みの現状と課題 富士通総研 経済研究所 上席主任研究員 生田 孝史
15:00~15:15	休 憩
15:15~16:55 パネルディスカッション	SDGs視点による企業価値創造とビジネス機会 パネリスト MSCI ESGリサーチ ヴァイス・プレジデント 鷹羽 美奈子 住友化学株式会社 CSR推進部長 福田 加奈子 富士通株式会社 環境・CSR本部 CSR・SD戦略統括部長 藤崎 壮吾 WBCSD サステナブルライフスタイル ディレクター ジュリアン・ヒル・ランドルト アース・セキュリティ・グループ アレハンドロ・リトフスキ 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 / 明治大学 関 正雄 モデレーター 富士通総研 経済研究所 生田 孝史
16:55~17:00	閉会挨拶 富士通総研 取締役執行役員常務 経済研究所長 小村 元

※WBCSD：持続可能な開発のための世界経済人会議
※プログラムの内容は一部変更になる場合がございます。

講師紹介

アース・セキュリティ・グループ チーフエグゼクティブ
アレハンドロ・リトフスキ



Avina財団におけるラテンアメリカ向けインパクト投資、シェル・インターナショナルにおける未来シナリオ、AccountAbilityおよびVolansにおけるインドネシア、ロシア、インド、ブラジルなどでの多国間金融機関、企業、投資家向けのサステナビリティ・コンサルタント上級職を経て、現在、ロンドンを拠点とするアース・セキュリティ・グループの創業者兼CEOとして、企業、金融機関、政府に対して、国・地域レベルでのSDGsに合致した投資・事業活動のために分析的手法による支援を行い、高い評価を得ている。ロンドン・スクール・オブ・エコノミクスにて修士号(政治社会学)を取得。2012年にBMW財団グローバルリスポンシブルリーダーシップ・アワード受賞。

MSCI ESGリサーチ ヴァイス・プレジデント

鷹羽 美奈子



2002年横浜国立大学大学院国際社会科学部経営システム専攻修了。KPMG AZSAサステナビリティにてCSRコンサルタント業務に従事し、その後Vodafone Japan/ソフトバンクモバイルCSR担当職を経て、2007年よりRiskMetrics Group (現MSCI Inc.)にてESGリサーチに従事。現在は、主にトレーディングカンパニー、自動車・自動車部品、小売業インダストリーを担当している。また、全インダストリーの日本株リサーチを統括する。

持続可能な開発のための世界経済人会議(WBCSD)
サステナブルライフスタイル ディレクター

ジュリアン・ヒル・ランドルト



WBCSDにおいて、事務総長室を経て、ピープル・プログラム(人権、社会インパクト、SDGsなどを対象)の「持続可能なライフスタイル」プロジェクトを主担当し、ライフスタイルへのインパクトの把握、既存の企業の製品ポートフォリオを超えた革新的な製品・サービス・ビジネスモデル・協働のイノベーションや、企業による消費者への啓発に関する取り組みに従事。ユニバーシティ・カレッジ・ロンドンにて法学士、インペリアル・カレッジ・ロンドンにて修士号(環境技術)を取得。

株式会社富士通総研 経済研究所 上席主任研究員

生田 孝史



1990年東北大学大学院修士課程修了(生物学)、同年(株)長銀総合研究所入社、1998年 米国デラウェア大学大学院修士課程修了(エネルギー・環境政策学)、同年(株)富士通総研入社。現在に至る。一般財団法人環境イノベーション情報機構理事兼務。桜美林大学大学院経営学研究所非常勤講師(CSR経営)。環境・エネルギー政策、環境・CSR関連事業・経営戦略、社会イノベーション、自然資源活用型地域戦略など、企業や地域の持続可能性をテーマとした研究活動に従事。

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 CSR室 シニアアドバイザー
明治大学経営学部 特任准教授 **関 正雄**



安田火災海上保険(現・損保ジャパン日本興亜)入社。理事・CSR統括部長を経て、2013年CSR室 シニアアドバイザー。同年より明治大学経営学部特任准教授。ISO26000日本産業界代表エキスパート。現在、経団連CBC企画部会長、経団連企業行動憲章改定タスクフォース座長、ESD活動支援企画運営委員長(環境省)、国連グローバルコンパクトCaring for Climate企画委員などを務める。

住友化学株式会社 CSR推進部長

福田 加奈子



関西学院大学理学部卒。住友化学の大阪研究所(当時)に入社後、樹脂添加剤の新製品開発に携わり、その後、同じ添加剤分野の事業部(東京)に異動、技術営業、国内営業、海外営業などを担当。2013年4月より、現職。主な社外活動は、グローバル・コンパクト・ネットワークジャパンWEPS分科会の共同幹事。

富士通株式会社 環境・CSR本部 CSR・SD戦略統括部長

藤崎 壮吾



1992年富士通入社。通信海外事業本部にて、アジアを中心とした通信インフラ商談支援および、大手グローバル企業とのアライアンス等を担当。2000年より渉外部門にてグローバルなインターネット政策や、貿易自由化についての政策提言に関わる。2010年より、富士通初のCSR専任組織の中核メンバーとして、持続的な企業経営に資する各種戦略策定・実施を主導。国連機関、国際フォーラム、NGOを含むステークホルダーとの連携にも注力。2017年より、SDGsに関わる全社戦略を担当。早稲田大学法学部卒業、米・カーネギーメロン大学経営学修士。

日時：2018年2月5日(月)
13:30 ~ 17:00 (受付開始 13:00)

会場：経団連会館 2階 国際会議場

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2
TEL：03-6741-0222 (直通)
URL：<http://www.keidanren-kaikan.jp/map.html>

■ 東京メトロ 大手町駅下車 C2b 出口直結

[お申し込み] <http://www.fujitsu.com/jp/group/fri/>
※ホームページからお申し込みください

[お問い合わせ]

株式会社富士通総研 経済研究所
特別企画コンファレンス事務局

〒105-0022 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー
TEL：03-5401-8392 E-Mail：fri-sp_conference@cs.jp.fujitsu.com

